

令和7年度事業報告書			事業所名	特養しおかぜ	作成者	榊原 翔	作成日	R8.3.31
目標	本年テーマ	(計画) 個別ケア／ご家族との関わり／職員の主体性 (評価) 年度当初よりご家族様との関わりや入居者自身の個性を重視したケアを行うよう目標を掲げていたが、ユニットケアの目的や家族との関わり方を理解できておらず各フロアの活動を優先した結果、個性を生かしたサービスが展開できなかった						
基本処遇及び運営	■令和7年度処遇及び運営方針に対する評価							
	(計画) ①ご入居者様・ご家族様の望む暮らしの実現							
	②その人に合ったユニットケアの実践							
	③自信が持てるケアの実践							
	(評価)							
	①・②については、入居時より本人の望む生活を実現する為に契約時にケアプラン原案に要望を盛り込むようケアマネージャーが要望を聞き取りケアプランに反映することはできたが、他職種が連携し要望をかなえる為の検討や情報共有ができなかったことは今後の課題が残る結果となる。期中より24Hシートの見直しを行い、ユニット職員主体に24Hシートの活用方法を模索しどの職員でもわかりやすいシートを作成するよう工夫したが、24Hシートを積極的に活用したケアの展開ができなかった。							
	③については、ユニット目標を各ユニットで掲げていたが、目標の共有や達成状況の確認がユニットやフロア間で共有できておらず、自らのユニットの強みや弱みが生かせる運営ができなかった。							
	研修・セミナー	■職員研修計画と実績						
		研修 名称	参加実績	研修 名称	参加実績			
		ユニットリーダー研修	2名参加	リスクマネジメント研修(新任)	未実施			
		認知症介護基礎研修	2名参加	リスクマネジメント研修(応用)	未実施			
		認知症介護実践者研修	未実施	相談課研修	参加			
		看取り研修	未実施	栄養課研修	参加			
		介護技術研修	未実施	看護課研修	参加			
会議・委員会・内部研修	■会議・委員会計画実績・効果							
		会議委員会名	実績・効果	会議委員会名	実績・効果			
		特養事業部会議	月1回実施	身体拘束・虐待防止委員会	2カ月毎にて実施			
		チーフ会議	月1回実施	看取り/褥瘡予防委員会	2カ月毎にて実施			
		フロア会議	月1回実施	感染症対策委員会	2カ月毎にて実施			
		相談課会議	月1回実施	認知症ケア委員会	2カ月毎にて実施			
		看護課会議	月1回実施	事故予防委員会	2カ月毎にて実施			
		栄養課会議	月1回実施	全体行事委員会	2カ月毎にて実施			
		給食会議	月1回実施	安全衛生委員会	月1回実施			

防 災 ・ 災 害	■災害訓練計画・実績					
		訓練予定月	実施月	訓 練 目 的	訓練評価	
		9月	9月	火災訓練	地震を想定した避難訓練及び初期消火訓練、通報訓練を通じ各フロア間の連携を再確認した。初動時の対応、各フロア間での連携に対し課題が残る結果となった。	
		3月	3月	火災・災害訓練	前期訓練を踏まえ、フロア間の連携を確認した。前回訓練に比べ、フロア間の連携や避難時における職員同士の声掛けに対して積極的に声をかけながら訓練自体真剣に取り組むことができた。	
行 事 ・ イ ベ ン ト	■月別行事(下段)・内部研修報告(上段)					
	月 度					
	4 月					
	5 月	法令遵守 事故予防				
		こども園交流会				
	6 月	感染症対策				
		全体:バイキング				
	7 月	認知症ケア				
		こども園交流会				
	8 月	高齢者虐待・身体拘束				
		1階フロア一行事				
	9 月	看取り				
	10月	感染症対策/外部研修報告会				
		特養20周年記念行事・こども園交流会				
	11月	事故予防				
	12月	認知症ケア				
		2階フロア一行事/こども園交流会				
	1 月					
		3階フロア一行事				
	2 月	高齢者虐待・身体拘束				
		全体:大鍋				
	3 月	特養全体会議 看取り/外部研修報告会				
	(総評)					
	今年度当初より、入居者だけではなく、ご家族様との関わりを増やす為に、面会時の関わりやご家族様を含む行事の企画、誕生月の外出、食事会を行った。ユニット差はあるものの、以前よりご家族様との関わりも増えご家族様と施設全体との距離感も近くなり顧客満足度調査においても以前より雰囲気明るくなり活気が出てきたと声をいただいた。その反面、ご入居者様やご家族様の要望を退所までに達成することを目標にカンファレンス方法の検討や多職種連携方法、24Hシートの見直し等を行ってきたが、ご入居者様・ご家族様の要望をかなえる為の検討会議ができなかった結果となり、多職種連携や情報の共有、ご家族様やご入居者様の思いや要望についての向き合い方について課題が残った。これらのことを踏まえ、ご入居者様を中心に置いた個性を生かしたサービスを展開する為にはフロア全体での活動よりもユニットを主体とした活動を増やすこと、ご家族様との関わりを増やすことを模索すること、多職種がもっとユニット運営に積極的に参画できる組織体制やしきみ作りを行うことなど、多岐にわたり抜本的な改革が当事業所には必要であると感じた。					
	年間稼働率目標 97.5% 年間稼働率実績 96.7%					